

平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

生徒を伸ばす学校(教育力) 1	笑顔ある学校(安心安全) 1	親しみやすい学校(地域交流) 1
1. 「未来につながる確かな学力」	(確かな学力を育成し、高い希望進路を実現する)	
2. 「安心・安全な学び舎」づくり	(他者と尊重しあう人権意識を醸成し、多くの仲間がいる安心・安全の学校をつくる)	
3. 「西高コミュニティー」の充実と発展	(地域と共に育つ西高生、地域交流 NO1 を誇る堺西高)	

2 中期的目標

1. 未来につながる確かな学力を育成しさらなる高みの希望進路を実現する Challenge for the future

(1) 多様な希望進路実現(理型[理系、看護医療系]、文型、体育・芸術表現創造コース)に向けて、教職員が一体となり組織的に取り組む。

- ア. 主体的・対話的で深い学びに向けて AL を取り入れた授業を広める。(PC・プロジェクター等 ICT を活用した授業の推進)
- イ. 基礎学力重視の補習、進学講習を充実させるとともに進学意識を高め、3年生対象の勉強合宿(集中講座)の発展充実を図る。
- ウ. 「高校生のための学びの基礎診断」を導入し、個々の生徒の伸びやつまづきを把握し、指導計画の見直し等指導の工夫や改善を行う。
- エ. 「学習サポート委員会」で生徒の学力向上と進路実現を推進する(出前授業等による公務員試験講座、卒業生による定期考査に向けての質問会、ネットを用いた動画授業の効果的活用等)
- オ. コース別の外部講師による講演会を実施し、生徒のモチベーションを多面的に刺激し、希望進路の実現をサポートする。
- カ. 「アートスタジオ」をさらに質的に充実させ、組織的な取り組みとして発展充実させる。(芸術コース・体育コース、文化クラブの生徒が人前で発表することにより、表現力・創造力をさらに磨く機会とする)
- キ. 生徒に向き合う時間を創出するため、また「働き方改革」からの観点から会議の効率化(資料の事前配布、時間設定)をめざす。

国公立・難関私立大学合格者5名以上、センター試験受験者12名、第1志望校合格者80%以上、学校幹旋による就職内定率100%維持

(2) 弛まぬ授業改善により興味・関心を抱かせる魅力ある授業をめざす。

- ア. AL の手法を用いて、「知識・技能」に加えて、「思考力、判断力、表現力」を養う効果的な授業を実践する。
- イ. 年2回の公開授業を実施し、全員参加の研究授業を充実させ教科を超えて授業見学を行う。(相互授業見学:年4回)
- ウ. 英語の4技能、特にスピーキング力を高める授業に取り組む。併せて英検準2級以上の受験を奨励し、英語の実践的スキルを向上させる。
- エ. ICT を活用した授業をさらに推進し生徒の授業に対する肯定的評価を高める。(AL型授業の推進・ICT活用授業の実践)
- オ. 授業アンケートをさらに活用して授業の改善点を確認し、積極的に授業力を向上する。(授業アンケートの全教員平均評価の向上)

授業アンケートの教員平均評価の向上 3.1以上をめざす。(H29:3.1 H30:3.1)

学校教育自己診断アンケート(生徒用)「教え方を工夫した授業」の肯定的評価50%以上をめざす。(H29:51.8% H30:47.5%)

2. 生徒が安心して学べる安心・安全な学び舎づくり

(1) 課題のある生徒・要配慮生徒を組織的に支援する。

- ア. 教育相談委員会と学年団が連携し、担任が適切に課題のある生徒に対応できるよう情報を共有し、学校全体で最善の支援を行う。
- イ. SC と密接に連携をとり、不登校気味の生徒や、心に課題のある生徒の対応にあたる。また研修等を通して教員のアドバイザー機能を高め、不登校の未然防止、ドロップアウトの防止につなげる。
- ウ. 教職員一人ひとりが「いじめ・体罰」に関する感性を一層高め、いじめを認識したり、生徒から訴え等があった場合、速やかに組織で対応を行う。
- エ. 教育相談室を充実させ、相談者やその他課題のある生徒にとって安心できる居場所を提供する。

引き続き、いじめ体罰「0」の安心・安全な学校をめざす。

(2) 仲間づくりを支援する

- ア. 「西高祭」など学校行事をさらに活性化することにより、仲間意識・協調性の向上を図り高校生活に充実感と自己肯定感を持たせる。
- イ. クラブ加入率を向上させ、帰属意識を高めるとともに学校の活性化を図る。

学校教育自己診断アンケート(生徒用)の「学校行事に積極的に関わっている」肯定的な意見70%以上をめざす(H29:69.5% H30:69.3%)

3年生引退前のクラブ加入率70%を維持(H29:70% H30:70%)

(3) 人権意識の醸成

- 人権問題に関する正しい理解を深め、女性、障がい者、同和問題(部落差別)、在日外国人、性的マイノリティに係る人権問題をはじめ、様々な人権問題の解決をめざした教育を人権教育として総合的に推進する。

(4) 道徳教育の推進

- 人間としての在り方生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために道徳教育推進教師を中心とした道徳教育を推進する組織体制の構築を行う。

3. 地域と共に育ち活躍する「西高コミュニティーの充実」

(1) 開かれたクラブ活動、学校行事で一層の地域交流を行う

- ア. 近隣の中学生を招いた大会「西高カップ(女子ソフトテニス、サッカー、女子バレー)」を継続し、地元中学校との連携をさらに深める。
- イ. 「ともに学び、ともに育つ」教育を推進するために、泉北高等支援学校との授業交流(年2回)を継続し、障がいのある生徒との相互理解を深める。

西高カップ参加者については、2020年度には1600名をめざし、泉北高等支援学校との授業交流については、交流方法のさらなる開発を行う。

(2) 地域貢献活動やボランティア活動を推進する

- ア. 「美化運動」や「あいさつ運動」を実施する。
- イ. クラブ活動や生徒会による地域行事(南区や町会主催のイベント)への参加やボランティア活動を奨励する。
- ウ. 地域の一員として通学時の交通ルール順守はもちろん、礼儀、服装、遅刻厳禁など規律遵守の重要性を説き、西高生としてのプライドを自覚させる。

(3) 西高の取組みを学校HP、学校説明会、中学校訪問、地域交流等を通じて広報し、広く西高の魅力を地域に発信する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和元年 12 月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【回収率】 今年の回収率は、生徒 98.0%、保護者 80.0%で保護者の回収率が上がった。今後、さらに保護者の意見を幅広く知るために回収率をあげる工夫を検討したい。</p> <p>【学校生活全般】 「学校が楽しい(生徒)」の肯定的評価は81.2%と昨年より微増し、ほとんどの生徒が日々楽しく学校生活を送っていることがうかがえる。また「学校が楽しいと言っている(保護者)」の肯定的評価についても76.4%となり、昨年度より4.9ポイント増加した。生徒の学校生活に対する印象が、保護者にもダイレクトに伝わっている。</p> <p>「部活動が盛んである(生徒)」については、79.8%(昨年度比+1.5)「部活動を積極的にすすめている(保護者)」が79.0%(昨年度比+5.2)という結果がでた。今年度から国・府の通達により、活動できる日数に制限が加えられるなど部活動に係る活動方針が大きな転換期を迎えたが、生徒、保護者から一定の理解が得られたと考えられる。今後も練習の効率化を追求し、学習との両立を担保したい。</p> <p>「教育方針をわかりやすく伝えている(保護者)」65.0%(昨年度比-0.2)「学校の教育方針に共感できる(保護者)」73.0%(昨年度比+2.5)でトータルとしての学校生活に関しては、概ね保護者の理解を得られているようである。</p> <p>【学習指導等】 「宿題をきちんと行っている(生徒)」が74.1%(昨年度比+5.5)であるが、「予習・復習等を行っている(生徒)」が21.9%(昨年度比-3.4)自宅家庭学習時間1時間以上は、16.0%(昨年度比-1.8)である。宿題はきちんとするが、自発的な学習や発展的な取り組みについては、できていないのが現状である。進路行事やLHRの活用に加えて、今年度から導入された「総合的な探究の時間」をさらに活用し、生徒の発達段階に応じて、授業形態の工夫や「興味・関心」を引き出すプログラムの開発に取り組む予定である。</p> <p>【生活指導等】 昨年同様、生活指導における保護者および生徒の肯定的評価はそれぞれ74.5%(昨年度比+5.4)35.9%(昨年度-2.9)と昨年と同様、大きく乖離している。保護者は、社会のルールに照らし合わせて厳しめの指導や躾を期待されている方が多いが、生徒は厳しい指導を敬遠する傾向にある。一方で、「厳しすぎる、時代の流れにあっていない」といった保護者の意見も散見される。今後の指導方針については、社会人になるにあたってどのような指導が大切かを検証し、改善すべき点は改善し、保護者に理解してもらえよう努めていきたい。また、生徒についても納得できる指導法を検討していきながら、生徒と向き合う環境づくりをしていきたい。</p> <p>【自由記述欄から】 「ホームページや保護者メールで学校情報をもっとわかりやすく伝えてほしい。更新頻度が低い。」という指摘があった。広報を行う組織を作り、定期的に学校の情報を適時に発信する広報活動を行っていきたい。保護者が学校に対して要望や要求する内容は増加傾向にあり、かつ多様化している。例えば、校則では、「厳しすぎる」から「現状でよい」という意見があるなど、濃淡がある。携帯電話の規制緩和、休日のクラブ登校時の服装、女子のズボン着用、教員の指導の在り方など意志の疎通を図り、より多くの保護者が納得できるよう進めていきたい。</p> <p>【学校運営】 西高祭やクラブ活動の取り組みの肯定的評価が生徒・保護者共に高い一方、教職員の「意欲的に取り組める環境にある」が、今年度-13.4%と2年連続で落ちている。教職員のモチベーションが低下しないよう、仕事の縮減化、合理化、平準化を組織的に進めていくなど働きやすい環境作りが急務である。</p> <p>「生徒の問題行動への組織的対応の体制の整備」が+14.5%と大幅にアップしている。生活指導と教育相談が連携を強化し、個々の生徒にあった指導の向上を図っていきたい。</p>	<p>【第1回学校運営協議会(令和元年6月21日)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変質者が出没する事案が学校周辺で生起している。クラブ活動で地域児童が下校する時間帯に、トレーニングを兼ねて学校周辺をランニングするなどして小学生を見守って頂いていることに感謝している。特に夏はそういった事案が多く、町内会でも注意喚起を行っていくと同時に学校とも情報の共有をしたい。 ・年間遅刻件数2183件は、他校と比べて少なく、厳しい指導の結果だと思う。さらに減らすには、個人で遅刻を重ねている生徒をいかに減らすかについて検討して頂きたい。 ・自転車事故について、全P連賠償責任補償制度や日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の活用など、補償の面は安心だが、登下校中の高校生の自転車に関わる事故が府内でも急増している。継続して定期的に交通安全指導して頂きたい。 ・大学側の入学定員数厳格化の影響と現役志向が強く、入れるところに入学しようとする生徒が多かったため、競争倍率が例年より高くなり結果が芳しくなかった生徒がいる。この状況は府内の高校すべてに共通していることと思うが、早い段階でオープンキャンパスに行かせるなどして、目標を明確にさせ、多様な入試形態の中から自分に最も有利なものを選んで受験させるなど一人ひとりの生徒の戦略を考えた進路指導を行ってほしい。 ・新しく設置された「探究」の時間を「どんな生徒に育てたいか」という観点から、発達段階に応じて、例えば、調査、研究、討議、発表という具合に展開していくような西高独自のプログラムを作って西高生を育成してほしい。そのことが今後、西高を志願する決め手の一つになっていくと思う。 <p>【第2回学校運営協議会(令和元年11月7日)】</p> <p>校内研究授業 体育実技「ハンドボール」 ～ランニングパスを活用したジャンプシュート及び実戦～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“判断・決断・行動”を、準備運動の中に入れていたのがよかった。胸筋や後背筋、肩関節を温めるためには、パス回しの種類をオーバーハンドパスにした方が効果的だったのでは。 ・普段からしつけられている様子が伺えた。シュートを打たせる練習をする時に、目標をもっと明確にしてはどうか。例えば、シュートのターゲットを足元とするならば、そこにマーカーを置いて、「ここを狙って打とう」というように指示すればわかりやすい。 ・楽しいかつ、ダラダラした雰囲気なくて良かった。声もよく出ていた。授業で感じたマイナス面もお伝えしたい。1つ目は、後片付けの際に1つのゴールを1人の女生徒が倒した場面があり、安全管理の観点から気になった。また馬飛びが出来ない生徒に対しても、後ろへ行って身体を動かしたり、もっと幅をとったりというような配慮が必要ではないか。怪我をさせない運営に工夫が必要だと感じた。2つ目は、「もっと～すればなる。」ということ、生徒にも考える時間が与えれば、自分たちで考えて動けるようになる。例えば、ミニゲームの1分間休憩の中で、どうしたらもっとパスが通りやすくなるのか、生徒達同士で考えさせる作戦会議の時間をとるなどの工夫をしてみてもどうか。 ・生徒は、楽しく、気持ちよく授業に参加出来ていたと思う。授業の組み立て方がうまく、日頃から生徒と会話ができていたのだろうなという印象を受けた。先生と生徒で楽しく授業、ワンチームになってできていることに驚いた。 <p>【第3回学校運営協議会(令和2年3月26日)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年の成人式に女子ダンス部が参加してくれて、大変感動したという声をたくさん聞いた。近隣の住人として、自分のことのように嬉しかった。毎年、福泉小学校で行われるサマーフェスタにもダンス部、放送部、吹奏楽部、軽音楽部がエントリーして頂き、好評である。今後も地域連携の一環として、地元で愛される学校であってほしい。 ・SNSに関するトラブルは、社会問題となっている。悪ふざけから大きなトラブルになっていく危険性を情報の授業や全校集会時に生徒に伝え、ネットリテラシーを徹底させてほしい。 ・ストレスチェックについて、毎年数値が上がってきているが、絶対しないといけない仕事以外を減らすような大胆な見直しを行ったうえで、業務の平準化、効率化を進め、また、一人で抱え込まず、複数の教員で対応するなどのメンタル面の工夫もされたい。 ・時間外勤務月80時間以上の職員は、年間15名程度が産業医の面談を受けているが、そのほとんどがクラブ指導に従事する時間である。中学校でも「働き方改革」で曜日によって部活動の時間の制限を設ける等の工夫をしているようである。顧問は、複数名いるので、分担して負担軽減しやすい仕組みを期待する。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>1 未来につながる確かな学力の育成と多様な進路の実現</p>	<p>(1)多様な進路実現に向けて教職員が組織的に取り組む</p> <p>(2)弛まぬ授業改善により興味関心を抱かせる魅力ある授業をめざす</p> <p>(3)英検・漢検をはじめとする資格取得を奨励する</p>	<p>ア)「総合的な探究の時間」検討WGを創設し、教科横断的な学習や課題発見・解決能力の育成を行うプログラム開発を行う。</p> <p>イ)保護者に対する進路情報をこまめに提供し、学校・家庭が一体となった進路指導を推進する。</p> <p>ウ)受験サポート体制を見直し、進学講習や勉強合宿の形態をさらに改良する。</p> <p>エ)教職員の生産的な意見交換、情報交換の場を設定する。</p> <p>ア)学校教育自己診断、その他のアンケート等から授業に関するニーズを把握し、AL・ICTを活用した授業を広く推進する。</p> <p>イ)「高校生のための学びの基礎診断」を導入し、学習内容の定着度合いを測定するとともに指導方法の改善や教員の指導力向上に繋げる。</p> <p>ア)後援会による補助制度を拡充し、英検、漢検、情報処理検定等の資格試験を奨励し、段階的に上位の級に挑戦させる。</p> <p>イ)第1志望の進路実現に向け学校をあげて支援を行う。</p>	<p>・自学自習時間の増加を図る 学校教育自己診断アンケート(生徒用) 2h以上 構成比10%以上 (H30:8.2%) 1h~2h " 10%以上 (H30:9.6%)</p> <p>・「将来に向けた進路・職業に適切な指導が行われている」の肯定的評価68%をめざす 学校教育自己診断アンケート(保護者用) (H30:64.4%)</p> <p>・授業アンケートの全教員平均評定3.13以上(H30:3.11)</p> <p>・「工夫された授業」の肯定的評価を50%以上 学校教育自己診断アンケート(生徒用)(H30:47.5%)</p> <p>・教員相互の授業見学年4回維持 (H30:4回)</p> <p>・英検2級・準2級合格者20名以上をめざす (H30:11名)</p> <p>・漢検準2級以上25名(H30:11名)</p> <p>・情報処理検定準2級以上30名(H30:24名)</p> <p>・ワフ^o検定準2級以上3名(H30:0名)</p> <p>・センター受験12名以上 (H30:8名)</p> <p>・学校斡旋による就職内定率100%</p>	<p>(1) 自学自習時間 ・2h以上 4.7% 1h~2h 11.3%合計でやや下げた。意識の醸成が必要()</p> <p>・「将来に向けた進路・職業に適切な指導が---」の肯定的評価68.3%(○)</p> <p>(2) ・授業アンケートの全教員平均評定3.13と昨年を上回った。(○)</p> <p>・「工夫された授業」の肯定的評価46.4%と昨年度よりやや下げた。()</p> <p>・教員相互による授業見学について年4回の機会を設け、成果や課題について協議した。(○)</p> <p>(3) ・英検準2級以上合格者10名()</p> <p>・漢検準2級以上合格者13名()</p> <p>・情報処理検定準2級以上合格者20名うち準1級1名は特筆すべき。(○)</p> <p>・ワフ^o検定準2級以上合格者3名(○)</p> <p>・推薦入試やAOで決める生徒が多くセンター試験受験者は2名にとどまった。()</p> <p>・学校斡旋による就職内定率100%()</p>
<p>2 生徒が安心して学べる安心安全の学び舎づくり</p>	<p>(1)課題のある生徒・要配慮生徒を組織的に支援する</p> <p>(2)仲間づくりを支援する</p> <p>(3)情報リテラシーの育成</p> <p>(4)違いを認め合う人権意識を養成する</p> <p>(5)交通安全学習</p> <p>(6)道徳教育の推進</p>	<p>ア)教育相談委員会と学年団が連携し、担任が適切に課題のある生徒に対応できるよう情報を共有し学校全体で最善の支援を行う。</p> <p>イ)教育相談室の更なる充実と整備</p> <p>ア)学校行事、クラブ活動のさらなる活性化</p> <p>イ)顕著な成果のあったクラブについては、後援会による支援を行う。</p> <p>ア)情報社会における正しい判断や望ましい態度、セキュリティの知識等情報モラルの育成に努める、SNS等による「いじめや問題行動」を撲滅する。</p> <p>ア)生徒向け人権講演会等で生徒自身の人権意識を向上し共に学び・共に育つ心を磨く。</p> <p>ア)警察官等による交通法規、自転車マナー研修</p> <p>ア)道徳教育推進教師を任命し、組織体制の構築</p>	<p>・学校教育自己診断アンケート(生徒用)</p> <p>「学校が楽しい」の肯定的評価80%以上の維持 (H30:78.4%)</p> <p>「保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる」の肯定的評価40%以上をめざす(H30:37.4%)</p> <p>・教育相談室の整備充実を行い安心できる居場所づくりを行う</p> <p>・部活動入部率65%以上を維持する</p> <p>・SNSの正しい使用を徹底しSNSで加害者・被害者「0」の維持</p> <p>・身近な差別を考える取り組みの実施、人権講演会肯定的評価80%以上</p> <p>・苦情件数の半減 (H30:30件)</p> <p>・2020年度の全体計画の作成</p>	<p>(1) ・「学校が楽しい」の肯定的評価81.2%(○)</p> <p>・「保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる」の肯定的評価32.9%生徒への周知が必要()</p> <p>(2) ・教育相談委員会を8回、ケース会議を8回開き、個々の生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、校内体制を強化した。()</p> <p>・部活動入部率65%を堅持(○)</p> <p>(3) ・学年集会やLHRを用いて、情報リテラシーの徹底を行い、事案0()</p> <p>(4) ・国際紛争関連講演は、わかりやすく生徒の心に響く内容であった。肯定的評価85.7%(○)</p> <p>(5) ・苦情件数12件()</p> <p>(6)道徳教育の全体教育を教科横断的な視点、探究、地域連携の観点からR2年度版の全体図を作成した。(○)</p>

府立堺西高等学校

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 地域と共生(育)西高生 西高コミュニティの充実</p>	<p>1)開かれたクラブ活動・学校行事で一層の地域交流を図る</p> <p>(2)地域貢献ボランティア活動を推進する</p> <p>(3)異校種連携の一層の充実と発展を行う</p> <p>(4)西高生徒の地域における評判を高める</p>	<p>ア)クラブ活動「西高カップ」の開催や文化部の地域祭りや施設の訪問発表を行う。</p> <p>イ)アートスタジアムにおいて体育コースの昨年を上回る成果発表を取り入れる。</p> <p>ア)校内や地域での「美化運動」や「あいさつ運動」を展開する。</p> <p>ア)福泉南中学校、福泉中央小学校、桃山台小学校との連携、泉北高等支援学校との交流を行い学校相互の理解を深め、小中高が一体となって生徒の成長を見守る。加えて、桃山学院教育大学等との高大連携の継続・発展を図る。</p> <p>ア)生活指導を通じてルール遵守の必要性を教え卒業後も信頼される西高生を育てる。</p> <p>イ)防犯意識を高め、持ち物の管理の徹底を図る。</p>	<p>・「西高カップ」の参加中学生累計 1600 人以上を維持する (H30:1700 名)</p> <p>・「学校行事に積極的に関わっている」70%以上をめざす (H30:69.3%)</p> <p>・近隣小中学校に出前授業(水泳講習等)や AED 講習を 2 回以上実施</p> <p>・あいさつ運動、清掃活動を合計年 50 回以上行う (H30:50 回)</p> <p>・地域交流事業年間 20 回以上</p> <p>・桃山学院教育大学との高大連携事業を体育コースにおいて継続実施をする。</p> <p>・校則・規律遵守を指導し、遅刻累計 2000 件以下をめざす。(H30:2183 件)</p>	<p>(1)</p> <p>・「西高カップ」の参加中学生累計 ソフトテニス部門 500 名、サッカー部門 400 名、バレー部門 400 名見込み 計 1300 名</p> <p>サッカー部門は中学側の事情により従来の 2 日開催から 1 日開催となった。(○)</p> <p>・「学校行事に積極的に関わっている」の肯定的評価 70.8% (○)</p> <p>・近隣小中学校に出前授業(着衣水泳、AED 講習) 2 回行い好評であった。()</p> <p>(2)</p> <p>・生徒会執行部による挨拶運動 50 回、11 月に近隣の清掃活動を行った。(○)</p> <p>・地域交流事業については、ダンス部、軽音楽部、放送部、吹奏楽部等が近隣のイベントに 20 回以上参加した。(○)</p> <p>・桃教大と高大連携事業の一環として体育コースの生徒に対して、スポーツ医学、スポーツ科学等の授業を 34 回行った。()</p> <p>・常習生徒に対して恒常的に指導を行い、遅刻累計 1 月末現在 2153 件()</p>
--	--	---	---	---